

ごとう通信

第 221 号

令和元年5月1日

皆さん、令和がやってきましたね。

まったく実感はわきませんが、これから毎日のように目にするのではありません。実際は医療、介護業界では和暦の使用が多いので今月から頻繁に使うことになり、ちなみに先日届いた講演会の講師依頼状には講演日に「令和元年十月」と記載されていました。慣れていないので皇居にでも呼ばれた気分でした。なんか平安朝とかの時代にありそうな名前ですね。

さて、昭和から平成になった時、僕は大学4年生。僕自身は6年制の大



学だったので卒業ではありませんでしたが、学生寮時代の同級生はその3月に卒業。まさに平成の申し子と言われた世代です。当時はバブル時代で日本が元気だった時代と言われています。ちなみに学生だった僕には関係のないことでした。

さて、平成の申し子世代として、令和への改元の感想は、「寂しい」です。自分の時代が終わったなあと思ってしまう。平成に入って歯医者になり、入れ歯の勉強もして訪問を始め、診療室も開業して…いろんなことをやってきました。終わってみると30年は早い。でも、これからは令和時代を支えるおやじとして頑張っていこうと思います。そういう世代ですから。それにしても改元のお祝い騒ぎ、

すごいですね。確かに平成になる時は昭和天皇ご崩御と同時だったので、お祝いムードではありませんでした。天皇陛下が退位されて改元、そしてお祭り騒ぎ。まさに歴史的な瞬間ですね。

文章

これまでもいろいろ文章を書く機会があり、今でも月に原稿を何本か書いています。まあ、本の出版などもあるので人よりは多く書いている方かなあとは思いますが。ただ、ここ最近はやや文章も浮かばず、原稿の締め切り前はかなり大変なことに…。もう年だからしょうがないかなあと思っていました。ある方が、文章は書いていないと文章力が鈍る



という話をされていて、ちよつと身につまされました。そっかあ、書いてないと筆が鈍るの

かと。と言ってもそんなに時間があ
るわけではないので、ブログ（イン
ターネットで公開する日記）でも再
開しようかと思いました。別にしっ
かり書き込まなくてもいいのでちよ
うどいいかなあとと思って。以前少し
やったこともあったのですが、なん
と十年以上前のことでした。

今回は改めて、「note」というシ
ステムを利用して再開しようと思
います。利用されている方もいると思
いますが、ブログだけでなく、いろ
いろな情報発信もできるものです。
まあ、僕の文章力トレーニングの場
ですが、ご興味があればのぞいてみ
てください。内容は期待しないでく

ださいね。

(https://note.mu/dr_goto)



歯が割れる

ちようど僕が歯医者になったころ
に歯科界で話題になっていたことは、
歯が折れる、割れるという問題です。
スポーツや事故で歯が折れるのとは
別に、噛み合わせや噛む力の影響で
歯の根が割れてしまうことがあるの
です。症状や割れ方によっては抜歯
につながるので大問題です。そして



先に結論を言うと、
現代でも根本的には
問題解決していませ
ん。

さて、歯の根が割
れる要因は大きく3



つです。歯の神経がないこと、差し
歯にするときの土台（コア）の形、
そして歯ぎしりなどの噛む力。むし
歯などで歯の神経を取った後、何ら
かの形で歯の形に修復していきます。
この時、差し歯の構造上、土台を作
らなければならず、根が割れてしま
うリスクが生じます。もちろん全部
割れてしまうということではありま
せん。
予防の第一は、歯を無用に削るこ
とは避け、ともかくにも歯の神経
を抜かないようにすることです。
今後、歯科技術が向上して、むし
歯で歯が痛くなくてもレーザーとか
薬とかで中の神経を抜かなくてよく
なるとか、神経自体を再生できるよ
うになるとかできるといいですね。
新しい時代にはいろいろ期待して
まいります。